

## 第85号

## し ら さ ぎ

## 新年に当たって

支援部長 上羽



新年明けましておめでとうございます  
います

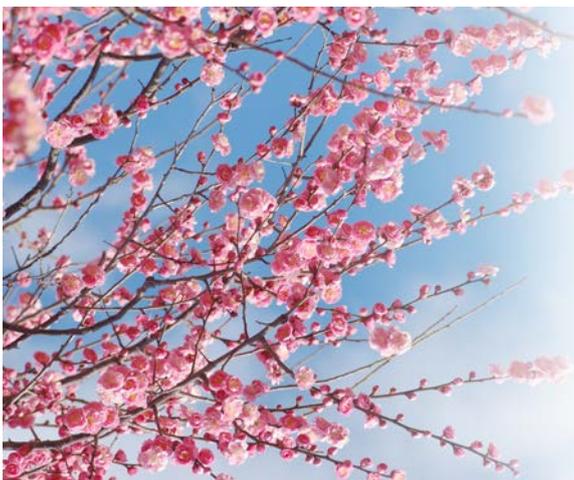
障害者自立支援法に事業移行して二年目を迎えました。試行錯誤の中で、施設入所支援事業と生活介護事業を始め、職員体制・夜勤内容・作業内容等夫々に整備をして現在に至っています。その中で、生活空間と作業の場所を分離するためねむの木寮(旧五十河保育所跡)を再整備し、リサイクル作業を中心に作業活動を行っています。まだまだ缶置き場・古紙置き場等整備は必要ですが、公用車に乗って作業場所まで行くだけでも利用者の皆さんは楽しらしく笑顔がはじけています。冬本番を迎え、除雪作業ばかりに追われ、作業ができるのか心配はありますが、職員・利用者と協力し、冬を乗り切りたいと思っています。

一年が経つのは速いもので、保護者会交流会を皮切りに、飯盒炊爨・バス旅行・納涼祭・一泊旅行・学園祭・クリスマス会と終わり、残すは新年会・節分・映画会だけとなりました。その中で、重度高齢化と利用者のニーズに合わせ、学園にと

っては初めての試みとして、日帰りバス旅行は小グループに分けて、近くはマイン、遠くは有馬温泉といった場所四箇所の中から利用者の方 yourselves が選択して保護者の方と一緒に旅行は近(雄琴温泉)・中(芝政)距離に分けて同じく保護者の方と一緒に行きましたが、利用者の方の一番印象に残っているのはこれではないでしょうか。一泊旅行の感想・反省の中でほとんどの方からは「行程に無理が無く、ゆっくり出来た。」「交流が出来た。」「食事が良かった。」「等感想を頂き、担当を始めほっとしているところです。しかし、服装、旅行場所の選択等について意見を頂いたり、反省材料も多々有ったと思います。しっかりと受け止め、次に生かしていく所存です。

昨年六月二十日、共生社会を実現するため、社会参加の機会の確保及び地域社会における共生と社会的障壁の除去に資することを基本理念として障害者総合支援法が成立し、六月二十七日公布されました。その中で、かねてより課題視されて

いた障害程度区分の見直しや盛り込まれ、障害者に対する支援として○重度訪問事業の拡大○共同生活介護と共同生活援助の一元化○地域移行支援の対象拡大○地域生活支援事業の追加が掲げられています。施設から地域移行へといわれて久しいですが、重度の障害を持たれた方々、身寄りが亡くなられた障害を持たれた方々が地域の中で生活していくには、多くの支援が必要となっていくと思います。政治が混沌としている中、私たち施設職員が今なすべきことは、利用者の皆さんが安心して地域で生活が出来る社会が到来するまで施設の理念でもあります安全、安心、安楽を目指し、豊かで温かい(アットホームな)施設支援を心がけたいと思います。



### 一泊旅行を 振り返って

生活支援員 井戸本佳奈

二年に一度の一泊旅行となり、久々に利用者の皆様は、職員とともに胸を弾ませました。今回は、ミシガン・雄琴温泉に向けてと、芝政・芦原温泉に分かれて計画しました。この案も、利用者の意見を元にして、「船に乗りたい」「遊園地に行きたい」等の多数の声を何とか現実のものにという思いで計画しました。利用者



の方は、「外へ出て泊まれる。」「美味しいものが食べれる。」ことが一番の楽しみだと感じます。保護者の方と一緒に過ごせるという時間は今後共大切にしていきたいと思えます。

今まで、一泊旅行は全員でということから、それぞれのニーズに合わせてということへ支援のスタイルも大きく見直す時期にもなっています。

初の試みで利用者、保護者の方にもご迷惑をかけたましたが、失敗、反省を繰り返して、これからの一泊旅行のあり方をみんなで楽しいものにできたらと思っています。



### 学園祭



学園祭担当

あゆみが丘学園の一大イベントである第二十七回学園祭が十月二十六日、京丹後市内の事業所等の方にも多数参加して頂き、盛大に開催されました。天候にも恵まれ、晩秋だというのに少し汗をかくぐらいの陽気でもとても気持ちの良い日でした。

ステージでは、学園の利用者といつもお世話になっているN氏の母とのコラボレーションによる大正琴。職員有志によるステージ。あゆみが丘よさこい連によるよさこい等行われ、学園祭を盛り上げてくれました。

ゲームコーナーでは千本釣り、射的、輪投げが行われ、みんな参加して楽しんでいました。模擬店は作業所の方々や安さん、北八さん等多くの模擬店が出店され、みんなの胃袋を満たしてくれました。どれもとてもおいしかったです。



### ハピネスさつまを 視察して

生活支援員 藤田泰弘

秋の深まりを漸く感じさせてくれるようになった十月十二日の金曜日、当園のマイクロバスに乗ったご家族の方八名と職員十一名とで、秋恒例の施設見学会へ播州平野に色鮮やかに咲き乱れる秋桜畑の間を縫うようにして行って来ました。今年目的は、自立支援法以降めつきり新設の少なくなった入所型の障害者支援施設のうちで、できるだけ真新しい施設をとということで、加古川市志方町にある「ハピネスさつま」(社会福祉法人博由社経営)という播州らしからぬ名前前のところでした。明石市から加古川市へと連なる播磨東部の障害をもった方々へサービスを提供するこの施設は、入所支援として五十五名、生活介護として八十五名、短期入所として五名、日中一時支援として四名の定員をもつサービスの他に、三度の食事は外注して、管理栄養士の方が栄養管理されている点や、入所されている方の医療機関への定期通院は家庭の責任で行なわれている点等々たくさん相違に領いたり腕を組んだりの連続でした。相

談支援事業も実施しているとのことでした。

創設から七年余りしか経っていない「ハピネスさつま」視察の感想を、六名の方に書いて頂きました。ありがとうございます。皆さんに御披露します。



### 施設見学会に 参加して

保護者A

午前九時前に、学園マイクロバスに途中乗車で拾ってもらい、十一時過ぎに目的地の山陽道加古川北インターに到着し、昼食後、午後一時ごろより、知的障害者施設「ハピネスさつま」を見学させていただきました。開設後七年余りと言う事で、新しい立派な施設でした。平屋建てで広い敷地(数千平方メートルはあると思われ)にゆったりと建てられた、すべてバリアフリーの病院のような建物でした。ちょうど昼食、休憩中だった為、作業の内容を見ることは出来ませんでした。利用者の皆さんは、落ち着いてゆったりしている様子でした。職員同士の質疑応答が活発に行われ予定時刻を約三〇分超過で、三時過ぎに帰園の途につき、五時三〇分頃に帰宅しました。職員、保護者の皆様、お疲れ様でした。皆様ありがとうございました。

保護者B

施設見学会「ハピネスさつま」に参加させて頂き、今回の施設は8年目という事で新しく、施設もとてもきれいで、利用者の生活を考えて過しやすい建物になっていてよかったです。建物の中には、体育館的なものがあり、日常は間仕切りをして小さな部屋にして、行事の時などは間仕切りを取り去れば大きく使えて、いいなあと思いました。雨の時や、運動会的なものでも、行事の幅も広がるのではと思いました。あゆみが丘にもあのような体育館的なものがあるといいのではと思いました。又保護者会も月に一回とされている様で活発に活動されているなと思えました。なかなか集まる事がむずかしいのはどこもいっしょみたいです。又、来年も参加できる様にしたいと思います。

保護者C

十月十二日、昨夜と違って嘘のようないい天候に恵まれて、加古川市のハピネスさつまに行つて来ました。バスの中からは、あちこちに松の





枯れたのが目につきました。加古川に着いたら、田んぼの中にコスモスの花がきれいに咲いていて、目に焼きつけてきました。ハピネススタッフは、平屋建てで広く大きな建物でした。二十代から六十代の利用者が入っておられました。車いすの方も二人おられる様でした。利用されている方は私達の来るのを待っておられたようで、私達に手をつなぐと言ったり、向こうから手を差し伸べてこられたり、向こうから「コンニチハ」と言ってくれました。一人部屋もありました。風呂も一人風呂から大きな風呂までありました。外に働きに行っておられる方もあるらしいです。女性の職員さんが、こちらの質問に事細かく話して下さいました。ゴミ出しの事から始まって色々聞かせて頂きました。帰りのバスの中では今度はあゆみが丘の職員さんと色々話せてよかったです。

保護者D

今回初めて、施設見学に参加させて頂きました。ハピネスさんは、建物が平屋という点や明るく清潔、畑も近いなど、よい感じでした。ただ、あらゆるドアに鍵があり、職員さんが常に力チ力チと施錠をされるの

を見ると、なにか違和感がありました。そこまですなければならぬ理由があるのでしょうか、あらゆる面できちんと管理がなされているようにみえ、少し息苦しさも感じました。あと、希望としては、同じ立場の保護者会の方にお逢いして、会の運営の様子などお聞き出来ればよかったですと思います。

保護者E

二ヶ月程前秋祭りを済ました後に、施設見学会に私一人で行って来ました。妻にも「行こう」と言ってみたのですが、今回は珍しく駄目でした。うちの職員さんに「どんな所？」と尋ねてみたら、「新しいところだ」とのことでしたので、期待していたのですが、到着して中に請じ入れられると、八年目だというのに、トイレが破損していたり、廊下の内壁の破壊された穴が修繕されていたり、ドアに凹凸があつたりと、所々の損傷が目立っており、ビックリしました。案内をして下さるどんな質問にも答えてくれそうな女性職員さんには好感を持ちましたが、彼女が施錠した回数多さにはビックリを通り越して度肝を抜かされる思いだった

保護者F

「ハピネスさま」のハッピーネスって名前がいいね。誰もハッピーになりたいと思う。そんなことを願ってみんな生きてるんだ。この不透明な時代、幸せの源が崩壊しつつあるんだ。幸せは尺度で測れないけど、自己が満足できれば良しとせにゃ。でもね、利用者には表現出来ない分もあるけど、そこは身近な職員や保護者が温かく包んで導いてやるのが大切だね。それに付け加え健康を損なうと、幸せが崩れやすいから、健康には充分気を付けて欲しいね。それに人生短いんだから、みんなハッピーになって欲しいね。

**厨房**  
「古きを温め新しきを知る」  
春より新たに新メンバーを迎える厨房です。  
今まで通り日々の業務をこなしつつ更にステップアップをするという意味から「温故知新」を新年の抱負とします。

**事務部**  
笑う門には福来たる！  
いつも笑顔の事務部！

**支援部**  
利用者第一・安全・安心・  
安楽な施設、支援ができるよう  
これまで以上に意識を高める  
努力をします。  
今年も一年がんばります！

**たんぽぽホーム**  
へび年は、へびのように粘着力をもって、  
がんばって生きてゆく。

**かすみ草ホーム**  
体重を増やすことなく細く長い年を  
(へび)

**すみれホーム**  
みんななかよし

**医務**  
利用者さんが笑顔で楽しく過ごせるように健康増進に努めたい。  
健康のため、若さを保つため  
みんなで体を動かしましょう！  
(ラジオ体操復活)

**もみじホーム**  
新年に思う  
もみじホームは、本館の中でも比較的若く、元気があり、体力もあり、逆に言うとうと多動でやんちゃな8名の集まりです。それぞれが自分の思いのまま活動していますので、ホーム朝礼、ホーム活動等みんなが一ヶ所に集合することが非常に困難なホームです。  
新年の抱負としましては、この8名が健康であり、穏やかな気持ちで過ごせることです。これは支援をする職員の努力目標でもあります。指導から支援へと変化している中で、もみじのみんなが何を求め、それをどのようにサポートできるのか、職員の力量が問われます。幸いもみじホームの保護者の方は各行事に対してとても積極的に参加して頂いています。保護者の方のいろいろな意見を頂きながら、一年をがんばります。  
ホーム長 井上 俊文

シルバー人材センターの方に学園の府道側の斜面を整備してもらい、きれいになりました。ありがとうございます。



集まった「ベルマーク」で  
おんじきぎを頂きました。  
今後ともご協力お願いします。



**ボランティア大募集!**  
皆さんの元気を貸して下さい。  
利用者の皆さんの生活支援、学園の行事の運営スタッフとしてお手伝いしていただける人。御連絡下さい。  
※随時受け付けています。  
「申込みはあゆみが丘学園」  
TEL 0772-168-10770  
Email: ayumi@gaoka@nxe-nkansai.ne.jp  
担当 北野・石河まで

**わかたけホーム**  
健康でがんばる。

**まつの木ホーム**  
整理整頓。作業もがんばる。

**かえでホーム**  
元気に食べて  
楽しい夢をみよう。

**ブナの木寮**  
「健康長寿」  
暑い日や寒い日が続く  
とすぐに健康を崩す方が多く  
健康に留意して木村次郎右衛門さんを凌駕したいです。



イラスト  
利用者 古木さん画



# 事務だより

平成二十四年七月十日

平成二十四年十二月十日 (敬称略)

## 【寄贈】

綾部市役所福祉課、有田英夫、和泉秀雄、  
 臼井喜治、梅崎、大西勲、小谷、川村、京都  
 北都信用金庫大宮支店、小森紳生、下原美  
 恵子、平功、たかた、竹内暢夫、竹中、田中  
 良平、谷口圭一、(株)玉岡、丹後大宮ゆう  
 薬局、戸田義正、廣瀬梱包運輸(株)、広野  
 省二、藤田進、松本英明、最上留美子、森電  
 気工業(株)、矢野世嗣、山岡義信、山根久  
 枝、山本てつや、吉岡栄志、由村愛子

## お知らせ

◎産休中の職員安里仁美さんが  
 11月に女の子を出産されま  
 した。

◎泊利正さんに11月より生活支  
 援員としてお世話になってい  
 ます。

◎平野まゆ美さんが12月28日付  
 で退所されました。  
 今後はグループホームで生活  
 されます。

◎矢野春みさんが12月18日にご  
 逝去されました。74歳でした。  
 謹んでお悔やみ申し上げます。

# リサイクル作業

(アルミ缶・銅線・フルトッフ  
 ベルマーク・古紙回収)  
 ご協力いただいた方



平成二十四年八月二日

平成二十四年十二月三十一日

(敬称略)

安達電気、明田地区の皆さん、遊地  
 区の皆さん、安達酒店、新井孝弘、  
 掛津区観光部、池田勝信、五十河地  
 区の皆さん、五十嵐商店、生野電  
 気、今西久野、今西洋服店、井上五  
 朗、稲岡靖子、芋野地区の皆さん、  
 糸井泉、石河(有)、糸井初美、いと  
 とめ・EAT店、和泉登喜雄、和泉  
 秀雄、井野建設、井上義昭、今井好  
 子、今井久男、いより庵本店、岩佐  
 利夫、梅田歯科医院、梅田高志、梅  
 田徳五郎、上田ひとみ、えびす電気  
 工事店、エナジールランド大宮、エル  
 クラブ・オオミヤ、岡島三協製作  
 所、オギノ電機、尾江充洋、大江純  
 一、大江仙治、岡田喜美子、大宮北  
 保育所、大宮南保育所、大宮第一小  
 学校、大宮第三小学校、奥田光秀、  
 おしほり店田村、岡田福治、岡田嘉  
 則、大河和子、大西勲、金子産業  
 (株)、柿本春恵、河島食料品店、川  
 村義一、木佐喜織物(株)、木崎弥  
 生、喫茶・お茶のみ友だち、京キユ  
 ウ、口大野地区の皆さん、小牧英次  
 郎、小池食料品店、河野哲朗、小笹  
 ふさ子、小牧俊介、後藤鉄工所、コ

マキデンキ、小牧義正、米トウタイ  
 ル、小林秀樹、小西デンキ、サニ  
 アイランド、山翠園、笹岡昭義、笹  
 岡儀和、佐藤勝、芝原商店、四方秀  
 夫、シルクロード、シラキ、白杉寅  
 雄、獅子崎益二、諏訪部英美子、諏  
 訪部秀雄、末次電気商会、隅倉住  
 建、大道菓子店、館保弘、大同宏子、  
 大同政守、大同敏剛、田上住与、田  
 崎書店、谷口圭一、谷口勲、田中博  
 久、田中恵、谷口廣、谷次義則、玉木  
 明司、田中ます美、壇野一義、玉岡  
 商店、丹後生糸、坪倉悟、でんき館  
 やました、豊田定夫、富田建築、中  
 江美晴、中尾文雄、中川利昭、永濱  
 洋子、中村保徳、永井清志、新田良  
 文、西田建設、西原謙次、橋本耕二  
 朗、番場電気商会、萩原誠、畑中酒  
 店、服部仁、日達利雄、平林かよ子、  
 平林善一、平井電気、広野清孝、フ  
 ルーツ王国やさか、フリーク、堀鉄  
 工所、堀敏雄、堀保彦、ホリロク  
 (株)、堀博昭、増鍊工業(株)、まるぜ  
 ん書店野田川店・加悦店、マジカ  
 ル、丸中観光バス、水口進、水口組、  
 宮尾倍行、三浦艶子、三重地区の皆  
 さん、峰山鉄工所、森井俊子、森重  
 俊、森岡伸行、森本地区の皆さん、  
 山中信子、山本敏彦、山本京子、ヤ  
 マモト電化サービス、矢野一之、矢  
 野幸子、矢野博、安田康之、安田豊、  
 由利徳七、由利家電サービス、吉田  
 電気工業、由利明人、横田悦子、吉  
 岡設備(株)、吉岡電気商会、吉沢地区  
 の皆さん、吉岡商店、吉村食料品  
 店、よざ電工(株)、(株)ローソン  
 大宮周枳店・石川店・男山店、ワ  
 タマサ(株)、和田八重子

# 職員紹介

生活支援員

泊利 正

11月より、あゆみが丘学園に勤  
 務させて頂き、まだ2ヶ月程です  
 がとても貴重な体験をさせて頂  
 いています。福祉関係の仕事は全  
 く初心者であり、利用者の生活支  
 援全般の介助がこなすにも大変  
 とは知りませんでした。しかし、  
 現在は少しずつですが自分で出  
 来る範囲で生活支援の介助を  
 やっています。職員の方々に協力  
 して頂き、事故のないように頑  
 張っております。色々と毎日勉強  
 になっていきます。

# 編集後記

新年明けましておめでとござ  
 います

毎年驚く程の積雪量のあるあゆ  
 みが丘学園ですが、風邪などひか  
 ず、みんなで一緒に新しい年を元  
 気に歩んでいきたい  
 と思います。

本年も宜しくお願  
 い致します。

